

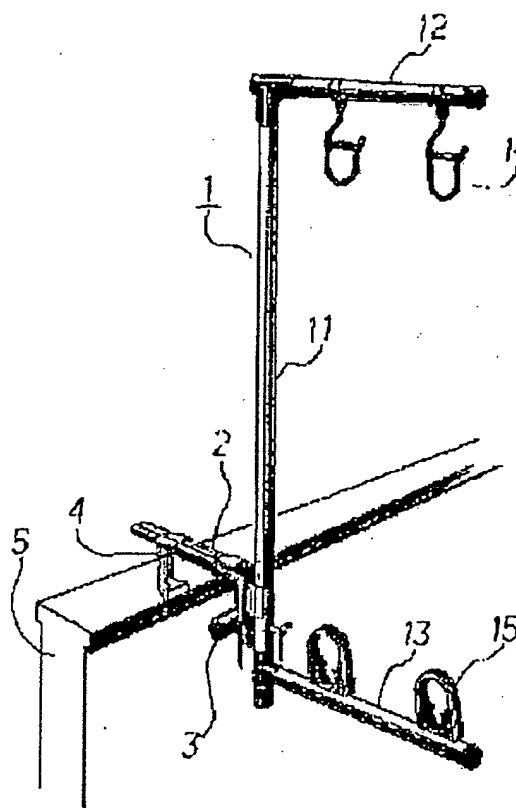
CLOTHES DRYING TOOL

Patent number: JP2001017791
Publication date: 2001-01-23
Inventor: NARUTO HIRONOBU; ONODA KOICHI
Applicant: SEKISUI JUSHI CO LTD
Classification:
- **International:** D06F53/04; D06F57/12; F16B5/06
- **European:**
Application number: JP19990198261 19990713
Priority number(s):

Abstract of JP2001017791

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a clothes drying tool to be attached to a wall-shaped handrail in a balcony, etc.

SOLUTION: This clothes drying tool consists of a drying tool body 1 and a fixture for attaching the body 1 to a support, and the fixture consists of an L-shaped fixture 2, a pressure bonding member 3, and a fixing member 4. The drying tool body 1 is attached to the base of the L-shaped fixture 2, and the top end of the base of the L-shaped fixture 2 is horizontally extended to be an arm rod. The pressure bonding member 3 is attached to the base of the L-shaped fixture 2 so that it is slidable but not rotatable. The fixing member 4 consists of a guide part whose upper ends has an almost same inner shape as the outer shape of the arm rod and an abutting part formed under the guide part. The clothes drying tool is attached to the support with the pressure bonding member 3 attached to the base of the L-shaped fixture 2 and the abutting part of the fixing member 4 holding the support body between them. Since such a fastener as a bolt is not attached to the lower part of the fixture to hold the support to pierce through the support, the clothes drying tool can be easily attached to a wall body such as a wall-shaped handrail, etc.



Data supplied from the esp@cenet database - Patent Abstracts of Japan

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-17791

(P2001-17791A)

(43) 公開日 平成13年1月23日 (2001.1.23)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-マ-ト*(参考)
D 0 6 F 53/04		D 0 6 F 53/04	3 J 0 0 1
57/12		57/12	Z
F 1 6 B 5/06		F 1 6 B 5/06	Z

審査請求 未請求 請求項の数1 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平11-198261

(22) 出願日 平成11年7月13日 (1999.7.13)

(71) 出願人 000002462

積水樹脂株式会社

大阪府大阪市北区西天満2丁目4番4号

(72) 発明者 鳴戸 洋伸

大阪府枚方市出口1丁目3番23号 積水樹脂株式会社内

(72) 発明者 鈴田 浩一

大阪府枚方市出口1丁目3番23号 積水樹脂株式会社内

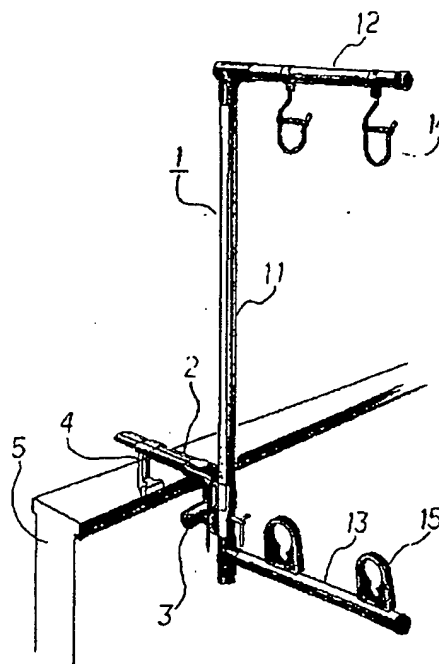
Fターム(参考) 3J001 AA07 BB00 DC01 EA00

(54) 【発明の名称】 物干し具

(57) 【要約】

【課題】ベランダの壁状の手摺などに取り付けて用いられる物干し具に関する。

【解決手段】物干し具本体とこの物干し具本体を支持体に取り付ける取付具からなる物干し具に於いて、取付具はL形取付具と圧着部材と固定部材からなり、物干し具本体がL形取付具の基部に取着され、L形取付具は基部の上端が水平に延設されて腕杆となされ、圧着部材はL形取付具の基部に摺動可能且つ回転不能に設けられ、固定部材は上端が腕杆の外形とほぼ等しい内形を有するガイド部とこのガイド部の下に設けられた当接部からなり、L形取付具の基部に設けられた圧着部材と前記固定部材の当接部により支持体を挟着して取着されるようになされたもので、支持体を挟持する取付具の下部にボルトなどの締結具が支持体を貫通して設けられていないので、壁状の手摺などの壁体にも容易に取着することができる。



BEST AVAILABLE COPY

(2) 開2001-17791 (P2001-1ch 滷繖)

【特許請求の範囲】

【請求項1】 物干し具本体とこの物干し具本体を支持体に取り付ける取付具からなる物干し具に於いて、取付具はL形取付具と圧着部材と固定部材からなり、物干し具本体がL形取付具の基部に取着され、L形取付具は基部の上端が水平に延設されて腕杆となされ、圧着部材はL形取付具の基部に摺動可能且つ回動不能に設けられ、固定部材は上端が腕杆の外形とほぼ等しい内形を有するガイド部とこのガイド部の下に設けられた当接部からなり、L形取付具の基部に設けられた圧着部材と前記固定部材の当接部により支持体を挟着して取着されるようになされたことを特徴とする物干し具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、主としてベランダの壁状の手摺などに取り付けて用いられる物干し具に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、ベランダなどに主として用いられる物干し具としては、ベランダの手摺を構成する縦格子を前後から挟着するようになされた物干し具が知られていた。又、登録実用新案第3010212号公報には、ベランダの立壁の内面側に配設される縦杆部を有する物干し台本体と、該ベランダの立壁の外側面に配設される副縦杆と、該物干し台本体の縦杆部と該副縦杆にて上記ベランダの立壁を挟持するように該物干し台本体の縦杆部と該副縦杆を相互に連結する連結部材と、を備え、該連結部材が、上記立壁よりも上方位置にて上記物干し台本体の縦杆部と上記副縦杆とを相互に引き寄せる支点用下横杆と、該支点用下横杆よりも上方位置にて該物干し台本体の縦杆部と副縦杆とを相互に押し離す突っ張り用上横杆とを有し、さらに、上記物干し台本体の縦杆部に、ベランダの立壁の上端内角部に当接する角当て具を、付設すると共に、該物干し台本体の縦杆部の下端部と副縦杆の下端部に、ベランダの立壁の内面と外面と夫々当接する挟着具を、付設したベランダ用物干し台が提案されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら上記の如き縦格子を前後から挟着するようになされた物干し具に於いては、格子を構成する縦棧と縦棧の間にボルトを通して前後から縦格子や上部の横棧を挟着するようになされているので、このような隙間のない壁状の手摺には取り付けられないという問題があった。又、登録実用新案第3010212号公報に提案されているベランダ用物干し台においては、壁状の手摺の厚さが上端とその他の部分で異なることがあるため、縦杆と副縦杆の下端に設けられた挟着具に内外方向に位置調整をする必要があり、上横杆と下横杆に寸法調整機能が必要であることと併せて、4箇所もの寸法調整が必要であり、取付作業が

きわめて煩瑣であるという問題があった。又、角当て具をベランダの縦壁の上端に当接する必要があるため縦壁の上端の形状が、切り妻屋根形などの形状の時ぐらつきが生じやすいという問題があった。

【0004】 そこで本発明者は従来の欠点に鑑み鋭意研究の結果、壁状の手摺に容易に取り付けられる物干し具を提供するものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明物干し具は、物干し具本体とこの物干し具本体を支持体に取り付ける取付具からなる物干し具に於いて、取付具はL形取付具と圧着部材と固定部材からなり、物干し具本体がL形取付具の基部に取着され、L形取付具は基部の上端が水平に延設されて腕杆となされ、圧着部材はL形取付具の基部に摺動可能且つ回動不能に設けられ、固定部材は上端が腕杆の外形とほぼ等しい内形を有するガイド部とこのガイド部の下に設けられた当接部からなり、L形取付具の基部に設けられた圧着部材と前記固定部材の当接部により支持体を挟着して取着されるようになされたもので、支持体を挟持する取付具の下部にボルトなどの締結具が支持体を貫通して設けられていないので、壁状の手摺などの壁体にも容易に取着することができる。本発明に於ける支持体とは、ベランダの手摺など物干し具を取着する対象物で、壁状の手摺や、格子体からなる手摺など適宜に支持体となされる。本発明に於ける圧着部材とは、ねじなどの押圧部材により適宜支持体に押圧されるものであればよく、固定部材の当接部と共同して支持体を挟み物干し具を支持体に取り付けるものである。

【0006】

【発明の実施の形態】 以下、図面を参照しながら本発明に付いて説明する。図1は本発明物干し具の実施形態の一例を示す斜視図であり、図2は本発明物干し具の取付部の拡大斜視図である。1は物干し具本体であり、取付具に支柱11が取着され、この支柱11の上端と下端に支持腕12、13が設けられている。この取付具が壁体5を挟むことにより壁体5に物干し具が取着されている。物干し具の上部の支持腕12の下部には竿掛け具14が設けられ、下部の支持腕13の上部には竿載せ具15が設けられている。支柱11や支持腕12、13は合成樹脂が被覆された鋼管やステンレス鋼管など適宜材料から作製される。

【0007】 取付具は、L形取付具2と圧着部材3と固定部材4からなり、L形取付具2の基部21には物干し具本体1の支柱11を把持する金具が設けられている。基部21の下端には左右に一对の貫通孔23が設けられ、中央に雌ねじが基部21を貫通して螺設されている。圧着部材3は背面に一对の円柱31が立設され、この円柱31がL形取付具2の基部21に設けられた一对の貫通孔23に挿通されている。L形取付具2の下端中央に設けられた雌ねじに押圧ボルトが螺入され、この押

(3) 開2001-17791 (P2001-1ch複綴)

圧ボルトに圧着部材3の背面が押され圧着部材3が壁体5に押しつけられるようになされている。圧着部材3背面の一对の円柱31がL形取付具2の基部21の貫通孔23に挿通されているので圧着部材3は回転不能に前後に揺動される。

【0008】L形取付具2の基部21の上端には断面が凸形の腕杆22が略水平に設けられている。固定部材4は上部に腕杆22の断面形と略等しい孔が設けられてガイド部41となされ、このガイド部41に腕杆22が挿通されて腕杆22と揺動自在に結合されている。固定部材4のガイド部41の下にはガイド部41と適宜距離をあけて当接部42が設けられている。この当接部42と前記圧着部により壁体5が挟まれ、取付具が壁体5に取り付けられるようになされている。

【0009】固定部材4のガイド部41とL形取付具2の腕杆22は揺動自在となされているが、固定部材4の当接部42と圧着部材3に押圧がかかると腕杆22に対して固定部材4が捻れガイド部41の孔の縁部が腕杆22表面に強く当接され、固定部材4が腕杆22に対して揺動できなくなる。ガイド部41の上面に設けられた緩み止めねじは、腕杆22と固定部材4の捻れが、振動などによって解消されるのを防ぐために設けられている。

【0010】圧着部材3と固定部材4の圧着部にはゴムシートが表面に設けられれば取付具が壁体5に対して滑りにくく、又壁体5を傷つけにくく好適である。取付具を構成するL形取付具2、圧着部材3、固定部材4は特に材質が限定されるものではないが、アルミニウム合金や亜鉛合金のダイカストなどが好適に用いられる。

【0011】

【発明の効果】上述の如く、本発明物干し具は、物干し具本体とこの物干し具本体を支持体に取り付ける取付具からなる物干し具に於いて、取付具はL形取付具と圧着部材と固定部材からなり、物干し具本体がL形取付具の基部に取着され、L形取付具は基部の上端が水平に延設されて腕杆となされ、圧着部材はL形取付具の基部に揺動可能且つ回転不能に設けられ、固定部材は上端が腕杆の外形とほぼ等しい内形を有するガイド部とこのガイド部の下に設けられた当接部からなり、L形取付具の基部に設けられた圧着部材と前記固定部材の当接部により支

持体を挟着して取着されるようになされたもので、支持体を挟持する取付具の下部にボルトなどの締結具が支持体を貫通して設けられていないので、壁状の手摺などの壁体にも容易に取着することができる。

【0012】又、本発明物干し具は支持体との取付のねじなどが裏面側に不要であり、ベランダの手摺などに取り付けるときベランダの外側での取付作業が不要で、作業が容易で安全である。又、圧着部材と固定部材の当接部が下端に設けられているので、支持体とされる壁体の上部に笠木など壁体の厚みより幅の広い部分があっても取付に支障がない。又、ねじなどの部品の点数が少なくてよいので、取付作業が容易であるだけでなく、外観上すっきりとしたものとなり、又取付後もねじの頭などの露出が少なく安全である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明物干し具の実施形態の一例を示す一部を透視した斜視図である。

【図2】本発明物干し具に於ける取付具の実施形態の一例を示す一部を透視した斜視図である。

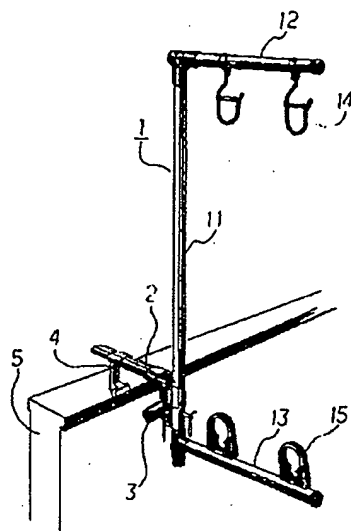
【図3】本発明物干し具に於ける取付具の実施形態の一例を示す正面図である。

【符号の説明】

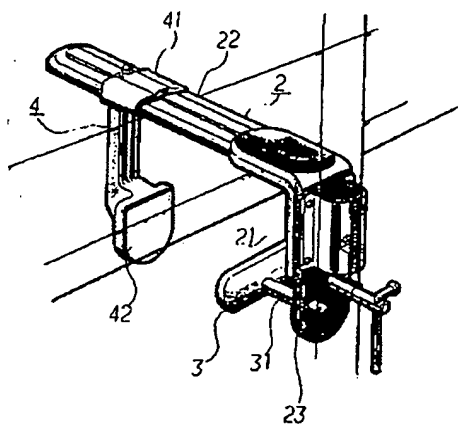
- 1 物干し具本体
- 11 支柱
- 12 支持腕
- 13 支持腕
- 14 竿掛け具
- 15 竿載せ具
- 2 L形取付具
- 21 基部
- 22 腕杆
- 23 貫通孔
- 3 圧着部材
- 31 円柱
- 4 固定部材
- 41 ガイド部
- 42 当接部
- 5 壁体

(4) 開2001-17791 (P2001-1ch/eA)

【図1】



【図2】



【図3】

